

たので、それよりも、ますますのまよひの足に
がみつぎ、運身のカで引張つたからたまらな
い、宇世中は仰向けに倒れた、相手は瞬間

晩秋のうららかな日曜の昼下り、青い空
にぼっかりぼっかり白みの多い小さな薄雲
がなびいて、いる間から太陽は力強く輝き、
ここ天王寺公園にもまらかい日差しを投げ
かけている。

ここにはギャンブル場、パチンコ店の夜
代と似たものはない。

芝の上に重座になり美味どつち、楽しそ
うに軽食を食べている家族づれや老人達、
元気一杯、楽しそつちにはしゃぎ回っている
子供達、ベンチで寄りそつちで膝掛け愛の語
らいでもしているのだからか恋人達。

宇世中はこの夾やかな健全社会みたいな
所に一人ぼっんと立って、あたりをキョロ
キョロ見ながら思っていた。

へまでこの人間、恋人が欲しい人には持て
たらどんなにすばらしいだろうか、

時たまドヤ住いの人なのだろうか、うっ
向き加減に、一人のよんぼりと歩いている

二、彼女

人がいる。

へその人は孤独が好きなのだろうか、それ
とも自分に合った友人が見つからないのだ
ろうか……。世の中から、よんぼりした
人がいなくなったらどんなに素晴らしいだ
ろうか。

宇世中は歩きだし、目には前後左右を見、
頭は思考した。

へ人間社会には教育が最も大切な人だろ
う、幼ない頃から良い環境と健全な教育で
育ってきたら、すべての人間、幸福な人生
を送れる場合が多いだろう。

又、人間、名々、先祖代々、受継いで持
っている悪い芽、馬鹿な芽を一つ取り去るに
正しい立派な芽を植え付ける教育が出来た
ら悪い事をこて生きようとする人は、いた
くなくなるだろう、馬鹿な人もいなくなるだろ
う、善地の悪い腹わたの腐った人も居なく
たり、実力の弱い人も不愉快な思いをく

いで毎持良く生まれようだろう……。
果してそんな完ぺきに近い教育が出来る
だろうか？

いや、そんなそののではとても完ぺきとは
言えないかもしれない。

教育関係者が本当にやる気をだして着、
冷静な態度のそとに真剣に深く十分に考え
たら、すべての人が満足する本当に立派な、
それこそ完ぺきな教育方法があみだせるは
すだが……。

宇世中は頭が痛くなってきたので思考を
止めて深呼吸をした時計を見た、二時半にな
ろうとしている。

実は今日、宇世中は、二の天王寺公園に
好きになつた彼女が来てくれるかもしれない
いからと待っているのである。その彼女と
は、一年前、頭を打つた時に治療を受け
た病院の看護婦さんである。

宇世中が片思いをく、彼女は宇世中を嫌

は来なかった。宇世中は瞬間、ほっとした
がすぐ淋しさがこみ上げてくるのを覚えた。
淋しさが遠のくまでに、さして時間け掛か
らなかつた。これをよいんだと、宇世中は
何處も自分に云い聞かせながら公園を後に
歩きだした。そして心の中で彼女に話して
いた。

へもともと彼は、結婚なんて、どうでもい
いと考えていたのだ。ただ何かのひょうく
に、君に夢中になり恋文を書いたから責任
を感じたまでの事なんだ、又、日雇労働者
の僕には優か、か、いな生活を十分に堂
々自信はないよ。世の中には自信と實力の
有る男性がいくらでもいるだろうから君は
僕の所へ来ないで良かったんだよ。

どうか貴女の理想のステキな男性と知り
縁になられて永遠に幸福に暮らして下さい
僕は結婚なんて考えずに、独身であるがゆ
えに出来る余こみを十分に楽しんで自分が

っているきらいがあつたので、
へ一年で貴女に好かれるような男になりま
すから、一年したら天王寺公園に出来たら
来てみて下さい。

と、書いて人づてに彼女に渡したのであ
る。時間は過ぎ過ぎと書いたから三時迄、待
って来なかつたら行こうと思つていた。

日雇いの身分なので、彼女の十二分の幸
福を考えたら、どうしても積極的になれた
かつたのである。

一年経つた今、人相と物事に対する考え
かたは、いづらか良くなったが、相変らず、
ギャンブルに金をつ、込んでいるので貯金
は全くないから彼女が来たらどうしようか
と不安でもあつた。又、もく来てくれたら、
それからは日雇以外は休まないで仕事行き、
ギャンブルもゲーんと控え目にして永遠の
幸福を考えていかねばと決意していた。

時計の針は、三時を指した。とうとう彼

りに幸福に生きて行きます。ではさような
ら。

宇世中の顔は生き生きと、さわやかな
になつていった。

三、未来

それから二十年、宇世中はとうとう女運
がなかつたのか、自分から独身主義をつら
抜いてきたのか、ずうと一人で居る。

近年、仕事は暇になり、三日に一回しか
仕事に有りつけない状態なので、休みの日
びギャンブルをやっていく余裕はないから
宇世中は今日は部屋に居て、テレビを見た
り、本を読んだりしていた。

二十年前と違って一日中新屋の中に居て
も苦にならなかつた。労働組合、行政の要
求をドヤの組合が聞いてくれて、ドヤを改
善したからである。部屋代は高い所で人夫
出く土方の日当の割合で、部屋の広さは最

位で二重になり、壁は新しく開きされた防音新建材を使い、壁の部屋のイビキ、物音はほとんど聞こえなくなった。

フロンは新しい軽い物に取り替えられ、壁時、段階装置付き乾燥機で、フワフワにくてくれるので清潔で且つ、心地良い。

電気は明るく、ドウカけ防音致物を効いていて、水虫の移る不衛生なスリッパに履き替える事なく、自分の履き物のまま上がれるようになった。申世中はテレビも録音もあがたので立派な住まいにしてく川た関係者に感謝し、汚したら悪いと力を持ちになり、そうご機で部屋をさうごした。そして食事を取りに外へ出た。献立は、かつこのチワワ、カマボコ、ハンペン、ウインナー、ハムに代わって、肉、野菜物が中心になっていて注文したら奥から遅い新鮮なものを持ってきてくれた。

政府の急々崎からも病根を絶とうとの方

なければならぬのであるが、紹介は登録番号を循環して行なわれていて、今は大体三日に一回しか回わってこなかった。

紹介業務はコンピューター技術から開発された大型器械で迅速、且つ正確になされ、七時三十分から八時迄に行なわれていた。申世中には今日は順番が回ってきて、新技術で、写真カードに組込まれた表示機というものにより、指定した好きな業者のバスに乗る事が出来た。

国民の労働時間は二十年前は八時間だったが、十年前には七時間になり、今は六時間になって、九時から四時迄が定時になっている。多くの器械が出来ているので仕事も楽で楽しくなり、遊んでいるよりか仕事にしている方が多いという人が多くなっている。申世中も仕事を楽しんでいる一人であるが、三日に二日は面白くない、あるいは退屈な日を送らなければならぬので、あ

針の一貫の一つとして、食生活の改善の推進と労働組合の働き、業者の良心で改善されたのである。

翌日、申世中は七時に起きて試功センターへ行った。一階には昔と同じようにバス、食料車が一列ついているが、運転手が番号と業者名を書いたアラカードを持って、ただである。仕事の難度は、すべてセンター業務となっていて、からである。アッコはすべて登録制となり、特別の場合を除き登録しなければ仕事は行けないようになって

いる。又、登録手帳は昔のより一回り小さくなりポケットから、無格好にはみ出す事はなくなつた。

そして円滑に暮るるに平等に仕事がゆきわたるようになるとのセンターの方針で、アッコとしての直行は禁止になっている。仕事に行く人はそのつどセンターの紹介を受け

る決断をしていた。

ある日、決断を早く実行すべく作戦を練った。先ずスクールバスをバスジャックして子供を人質に取り、政府にある要求書を実きつけるのである。その要求書とは、

一、為政者は常に心に太陽を持ち全人類、全生物の幸福を考慮した。日本の国旗は太陽を形取ってデザインされている。全太陽系宇宙中の人数、生物が、太陽の恩恵を受けている。我が国は、国旗に太陽を取り入れている事もある。太陽に恥ぢない宇宙に範を示す政治を行なってもらいたい。私はその観点から政府に次の三点の実行を要求します。

一、現在、我が国のみならず、全世界の多くの人は、暇を持て余し過ぎていて、暇を持て余すあまり、食から始まらないに走っている人々も多く見受けられ、このままだと人類社会は腐敗する恐れがある。

政府は早急にこの対策に真剣に取り取り組んでもらいたい。私の提案としては、無料でスポーツの出来る施設を数多く作る事である。人工密集地では場所の確保は困難だろうから、近くの山を切開くとか、海を埋立て人工の島を作るか、造船技術で、海上にとてつもなく大きい鉄の箱を浮かべろかして確保できるはずである。そして国民皆さんがスポーツが好きになるように指導員を配置し、新しいスポーツの開発にも取り取り組んでもらいたい。

皆さんが、スポーツを親しむ事によって国民の体位は向上し、健康で明るく、文化生活をより楽しいものにしてくれるでしょう。又、労働者も休日にも遠慮する事なく、休日をも有意義に過ごす事が出来るでしょう。私は政府に、人口、千人に一個所の割合で施設の建造を要求します。

二.....

三.....

三項目の要求を掲げ、人質釈放と引き替えに要求受入れの確たる約束を政府にすることもらうのである。

しかし、宇世中は良く良く考えてみた結果、スクールバスジャックは出来ないと考えた。第一、子供がかわいそうだから、悪い影響を与えろし、又、重犯罪だからである。では良心的に要求を受諾してもらうにはどうしたら良いか.....。宇世中は頭の疲れを押さええて考えた。その結果、国会議事堂の前で、要求書を広げ、焼身自殺をしたほうが良いとの考えになった。

宇世中は、それから自殺しやうと白に物事を考えていき、いつでも死ぼうと心に決めた翌日、ちょうど国会も会期中だった。時に西暦一九九八年晩秋。万年アンコの宇世中は生涯を閉じたのである。